

令和元年度 北海道小学校長会

第2回理事研修会

研究副主題・分科会構成案について

令和 元年 7月1日



まず、副主題の変更について説明させていただきます。

ご存知のように、令和2年から全連小の研究主題が、「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」と変更されます。

道小では、平成29年度 第60回宗谷・稚内大会より現研究副主題を設定し、研究してきたところです。全連小の主題や全国的な動向、教育情勢等を視野に入れ、令和2年度からの副主題を改訂に向けた検討を始めております。

令和2年度の63回オホーツク・北見大会は、新たな研究主題と研究副主題の下に開催されることとなります。改訂に当たり、現副主題が改訂された以後の、下段にあります平成29年度以降の教育情勢や分析を加えていき、案を作成してまいります。

基本的な考えを4Pに記述しております。これまでの経緯や全連小の主題設定に当たっての考えを十分に踏まえ、文部科学省、道教委の目指している教育の方向性、教育施策を分析し、道小研究の成果と課題を盛り込んで設定してまいります。

次に、分科会構成についてお話しします。

現在、全連小に倣い、5つの領域について、13分科会を設定して研究に取り組んでいます。これまでの課題として、例えば、12分科会の「自立と共生」について、特別支援教育と環境教育を視点として取り上げているが、話し合いにおいて両者の関わり合いが難しいことなどがの声が挙がっていました。

また、年々減少する学校数・会員数により、各分科会の人数が減少傾向にあることも課題です。そして、開催地によっては、13分科会会場を確保することが難しいとの指摘も受け、予算的にも圧迫されている面もあります。

これらを踏まえ、分科会の構成を見直してまいります。

なお、すでに確認されておりますが、令和2年、オホーツク大会においては、現行の分科会構成で実施し、令和3年度から新しい分科会構成を適用いたします。

副主題および分科会構成については、次回第三回理事研修会にて提案できるよう、準備を進めております。